

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22065	事業名	創業等支援事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					
	施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上		予 算 科 目	会計	01:一般会計
		基本施策	02:地域に根ざした商工業の活性化			款	07:商工費
		施策の方向	04:新たなビジネスの創出			項	01:商工費
		重点プロジェクト	-			目	02:商工業振興費
事業期間	H 29 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		三重県市町連携型中小企業金融支援補助金交付要領			

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	産業環境部
課	商工観光課 商工業振興G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	地域の創業支援機関と連携し、創業セミナーの開催等、創業支援に取り組んでいる。今後は、セミナー等での知識習得に加え、創業を希望する人がさらに一歩を踏み出しチャレンジできる環境の充実を図っていく必要がある。	市内での創業を希望する人及び創業後間もない人	市内での創業を促進し、地域産業の活性化を図るとともに、雇用対策を推進する。	専門家を講師とした創業支援セミナーや個別相談会を開催する。また、空き店舗等の活用への支援や創業資金融資にかかる保証料及び利子の一部を補給するとともに、創業後においても亀山商工会議所をはじめとした地域の創業支援機関と連携し、継続的な支援を行う。さらに、創業にチャレンジできる環境を設けて創業の機会を提供する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料・利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付	○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料・利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付	○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料・利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付	○創業支援セミナーの開催 ○創業融資にかかる保証料・利子補給 ○空き店舗等活用支援補助金の交付	
	活動実績 (計画通り実施できたか)	創業セミナーは全4回開催し、定員上限の20人が参加し、そのうち令和4年度における市内の創業件数は2件であった。また、空き店舗等活用支援補助金は2件、創業資金利子補給制度は3件、保証料補給制度は2件の申請があった。				
計画額	事業費	事業費	5,800千円	5,700千円	5,800千円	5,800千円
		国・県支出金	400千円	390千円	400千円	400千円
		地方債				
		その他				
	一般財源	5,400千円	5,310千円	5,400千円	5,400千円	
決算額	事業費	事業費		3,994千円		
		国・県支出金		26千円		
		地方債				
		その他				
一般財源		3,968千円				
①期間内事業費(R4-7)		23,200千円	②期間外事業費(R8-)	-	①+②総事業費	-

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	5,700千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	創業セミナー受講者数	活動	人	計画値	15	15	15	15
				実績値	20			
創業者数	創業セミナー受講者のうち市内创业者数	成果	事業者	計画値	3	3	3	3
				実績値	3			
創業資金融資制度利用者数	新たに創業資金融資にかかる保証料及び利子補給の対象となった市内创业者数	活動	事業者	計画値	8	8	8	8
				実績値	4			

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	平成25年度の創業セミナー開催時から市内での創業件数累計は25件、空き店舗等活用支援補助金の申請は、平成30年度の制度開始より5年間で累計10件の申請があるなど、創業者等への制度の定着と有効活用が図られ、にぎわいのある商業地域の形成に寄与できた。また、小規模事業者等経営支援事業による個別の経営相談、創業資金利子補給制度や保証料補給制度の実施により、創業者の負担軽減と経営の安定を図ることができた。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市内での創業を希望する人及び創業後間もない人	市内での創業を促進し、地域産業の活性化を図るとともに、雇用対策を推進する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	さらに創業に向けて一歩が踏み出せるようにするには、創業に必要な経営の知識を得ることと初期投資などリスクを負うことなく起業イメージを持つことである。引き続き、創業セミナーや資金繰りなどの支援に加え、チャレンジできる環境づくりについて研究を進め、にぎわいの創出を図る必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性			
	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する			
	改善・見直し内容			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和5年度で対応する(した)もの</th> <th>令和6年度以降で対応するもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創業を志す人のニーズを把握し、チャレンジできる環境づくりとにぎわいの創出について研究を進める。</td> <td>関係機関とも協議し、方向性が決まり次第、予算計上を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	令和5年度で対応する(した)もの	令和6年度以降で対応するもの	創業を志す人のニーズを把握し、チャレンジできる環境づくりとにぎわいの創出について研究を進める。
令和5年度で対応する(した)もの	令和6年度以降で対応するもの			
創業を志す人のニーズを把握し、チャレンジできる環境づくりとにぎわいの創出について研究を進める。	関係機関とも協議し、方向性が決まり次第、予算計上を行う。			

【履歴】	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A			
事業展開	継続(現状維持)			

1次評価者	産業環境部 商工観光課 商工業振興GL 原 千里
最終評価者	産業環境部 商工観光課長 井上 和哉